

○ 小学校社会 第6学年 ②  
「源平の戦い後の頼朝の政治」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	平清盛を中心とした平氏の政治に対し、貴族やほかの武士たちの間で不満が高まっていった原因についての知識を問う問題である。	<p>内容(1)我が国の歴史のうち「源平の戦い」「鎌倉幕府の始まり」についての活用問題である。</p> <p>年表や文章資料などの資料を活用して、人物の願いや働きなどを考え、我が国の歴史に対する興味・関心や愛情を育てることが大切である。</p> <p>宮崎県に残る伝承と関連させていきながら、源頼朝はまわりの武士たちをどのように従えていき、武士による政治をスタートさせていったのかを理解させることがねらいとされる。</p>			◎
(2)	源氏が平氏の落人狩りを行った原因について、資料2・3の情報をもとに頼朝の願いを読み取りながら解釈する力を問う問題である。		◎	○	
(3)	既習事項である「ご恩と奉公」についての知識と資料4の事例とを関連付けながら、解釈する力を問う問題である。		○	◎	○
(4)	資料4の事例をさらに深く読み取り、選択肢と関連させて思考する力を問う問題である。		◎	○	
(5)	頼朝がどのように武士を従えていったのか(封建制度の意味)について、指定されたキーワードを用いて文章で表現する力を問う問題である。		◎		○